

第7回 片瀬地区新コミュニティ施設検討会議 議事要旨

開催日時：2019年（令和元年）11月25日（月） 19時～20時30分

開催場所：片瀬市民センター 第2談話室

出席者：【検討委員】

三觜氏（委員長）、澁谷氏（補佐）、正田氏（補佐）

甘粕氏、川久保氏、森田氏、荻野氏、和田氏、池田氏

坂爪氏、宇田川氏、鶴岡氏、畠山氏、笹岡氏

欠席者：鈴木氏、神保氏、湊崎氏

出席者：【事務局】

市民自治推進課 藤岡主幹、小泉課長補佐、近藤課長補佐、遠藤

片瀬市民センター 村山センター長

配布資料：「第7回片瀬地区新コミュニティ検討会議次第」、「第6回片瀬地区新コミュニティ検討会議議事要旨（案）」

委員からの当日配布資料：「片瀬地区新コミュニティ拠点施設についての提言書（案）」

書記の指名：名簿順に指名することとし、宇田川氏及び鶴岡氏が指名された。

議事：

1 前回議事の確認

・議事録にある片瀬小学校及び片瀬中学校の太陽光発電で、エアコンの作動は可能か。（A委員）

→現状では通信等程度まででありエアコンの作動は難しい。（事務局）

→夏や冬の避難所を想定すると避難者のためにエアコンは必要である。（A委員）

→現状の体制に足りないと思われるものについては、提言書に盛り込んでほしい。（事務局）

・前回会議の議事要旨が承認された。

2 片瀬地区新コミュニティ施設について（提言書に関する事）

（1）議題に関する事について、事務局からの説明。

・B委員より本日配布された資料である「片瀬地区新コミュニティ拠点施設についての提言書(案)」に基づき議論をしていただき、提言書の完成に向けた作業をお願いしたい。

(2) 意見交換、質疑応答

- ・「片瀬地区新コミュニティ拠点施設についての提言書(案)」の【1. 新コミュニティ拠点施設の必要性】について説明。(B委員)
- ・最後の部分で防災拠点と記載しているが、それだけではなく、福祉避難施設ということも併記してほしい。(C委員)
- ・「～の建設を提言します」とあるが、「多目的複合施設の付属を提言します」としたほうが良いのではないか。(D委員)

- ・「片瀬地区新コミュニティ拠点施設についての提言書(案)」の【2. 建設の前提条件】については事務局に確認したい。完成するまでは現在の片瀬山市民の家は使用可能か。また、完成後については廃止になるのか。(B委員)
 - 完成するまでは、現在の片瀬山市民の家は使用できる。完成後は、市役所の各課に聞き取り調査等を行い、他の目的で使用するか廃止するかを検討していくことになる。(事務局)
 - 完成しても会議室が足りないこと等が想定されるので、廃止ではなく今後でも使用できないか(A委員)。
 - 現在の市民の家が老朽化しているということより建替えとなっているので市民の家としての利用はない。足りないこと等があれば提言書に盛り込んでほしい。(事務局)

- ・「片瀬地区新コミュニティ拠点施設についての提言書(案)」の【3. 基本的な考え①～⑨】について説明。(B委員)
 - ・以前の会議で年配者の孤食の解消も話題あったが、それはどこかに盛り込まれているか。(A委員)
 - それは、⑦に記載されている内容に含んでいる。オープンスペースでフードコートのようなイメージで食事ができる方が良いのではないか。(B委員)
 - ・新しい施設は2階建の建物を想定しているようなので、避難者の移動等も考慮すると階段は広めにしたほうが良いのではないか。(D委員)
 - 建物の外に2階まで昇降ができるスロープもあると良いのではないか。(B委員)
 - ・避難場所として考えると、例えば1階を寝泊りする場所、2階を食事する場所と想定することができる。そうするとキッチンの場所を2階にする必要があるのではないか。また、停電時の対策として、太陽光発電だけでは不十分なので自家発電機能が必要なのではないか。(C委員)

- ・新しい施設についての設計についても関与できるか（B委員）
- 提言書から設計をすることになり、設計発注後は市と受注者にお任せいただくことになる。発注仕様書をつくる段階でご意見を伺っていききたい。（事務局）
- ・①にある中高校生用のオープンスペースや⑧にある屋外バスケットゴールや卓球台は必要なのか。（E委員）
- 以前までの会議においてもすでに検討されている内容である。市民の家としてだけではなく、中高生も含めた多世代が集えるコミュニティ施設として必要と考えているので記載している。（B委員）
- ・提言書の内容をすべて満たすような施設はスペース的にも実現が難しいのではないか。（F委員）
- 現時点では出てきた提案を絞り込むことはしないで、全て提言書に盛り込んで良いのではないか。（C委員）
- ・1階のホールを外から見えるようにガラス張りにして、開放的な雰囲気のアピールしていきたい。（A委員）
- ・⑥にある駐車場の有料化を検討したい。（B委員）
- それについては、今後の運営に関する検討をする際に良いのではないかと。（C委員）
- ・①にある「行政に関する機能だけでなく～」とあるが、それはどのような想定なのか。（C委員）
- 住民票等が取得できるようなことを想定した。（B委員）
- 例えば、片瀬しおさいセンターのようなイメージだとすると、名称は市民の家ということではなく、変更していくのも良いのではないかと。（C委員）
- 名称は変更していくことも可能と考えている。（事務局）
- ・提言してもいままでどおりになってしまうということは避けてほしい。行政には従来の考え方の延長ではなく新たな考え方で取り組んでほしい。（G委員）
- 提言書の制限をするというわけではないが、行政機能を入れていく想定はない。地域で運営する施設として考えてほしい。（事務局）
- ・防犯面の懸念はあるが、外構は壁で囲わないほうが良いと思う。また、記載については、「防災」や「福祉」のような分類をいれたほうが良いのではないかと。（H委員）
- ・先日の台風でも片瀬地区にいくつかある避難所のなかでも高台にある片瀬中学校にはもっとも多くの避難者が来た模様。高台にあるという点を強調していくべきではないかと。（D委員）

- ・提言書作成についてのワーキンググループを設置しても良いのではないか。
(A委員)

→委員長と両副委員長の3人で提言書(案)は作業していく予定。また、提言書(案)について意見等があれば連絡してほしい。(委員長)

3 その他

提言書を読むとレイアウトが思い浮かぶような記載にしていきたい。
また、市民の家についても記載をしていただきたい。なお、今後のスケジュールとしては、1月に提言書(案)を完成させ、2月に予定されている片瀬地区全体集會に報告し、3月に提言書を提出するといった流れとしたい。
(事務局)

4 次回日程について

2020年(令和2年)1月29日(水)18:30時～
片瀬市民センター 第2談話室